

～文化の広場～



発行日：2021年7月3日
代表：神原（教育・3年）
連絡先：090-2331-4456

「早稲田サークル文化を盛り上げよう！ 文連の会」が 第1回会合を開催！ サークルの垣根を越えて活発に討論！

サークル員のみなさん！ 私たち「早稲田サークル文化を盛り上げよう！ 文連の会」は6月29日、第1回会合を開催し、サークルの垣根を越えて活発に討論を行ないました。会合では7・8月期の文化サークル活動と企画を対面で実現していくことの大切さを共有するとともに、サークルどうしの横のつながりをよりいっそう強くしていくことを確認しました。参加してくれたみなさん、ありがとうございます。いま各サークルでは、7・8月期の活動に向けて準備を着々と推し進めていると思います。今夏・今秋期の文化サークル活動を創造的に発展させていくために、私たちはさらにサークルどうしの団結を強めていきましょう！ 以下では会合に参加したサークル員からの声を紹介します。

— — — 第1回会合に参加したサークル員からの感想 — — —

会合はとても盛り上がっていました。昨年来、何度も何度も学生会館から閉め出され、サークル内でもサークル間でも集まれなくさせられ、やっと顔を突き合わせてお互いの状況（工夫と苦勞）を交換できたからだと思います。學術サークルの私も常々感じてきましたが、演劇サークルさんの話を聞き、サークル文化が創造的に発展していくには、全てのサークルにとって対面が不可欠だと確信しました。結束の輪を今後も広げていきたいです。

演劇は舞台の上の人間とそれを観るお客様とで作り上げるもの。カメラに向かってやるのであれば、それは映像作品になってしまう。演劇にしかない、その場で観て感じることはには演劇とは呼べない。対策をしっかりと行なった上で、お客様を呼べるよう検討して頂きたい。

「緊急事態宣言」下で授業は普通にやっているのに、サークルだけがなんで対面で活動してはダメなのか？ 会合で同じ思いを抱えている仲間が他にも勇気付けられた。もう我慢の限界だ。いまこそ大学当局に対して、サークルが団結して声を上げるべきだと思う。

異なるサークルに属している人たちが集まって、表現することや学問研究することについての思いを話し合えてよかったです。私たちがサークル活動をつうじてつくっている文化は手作りの血のかよったもの。その息づかいを大切にしていきたいと思いました。

当会の活動に興味がある方は、ぜひ
waseda-bunren@hotmail.co.jp
までご連絡ください。

